社団法人日本クレジット協会は、クレジット関連企業約1,100社で組織するクレジットの総合団体で、割賦販売法に基づく「認定割賦販売協会」として経済産業省の認定を受けています。

平成22年4月1日、「クレジットカードショッピング枠の現金化」への対策として、「「クレジットカードのショッピング枠の現金化」排除に向けた総合的対策」をまとめ、実施しております。

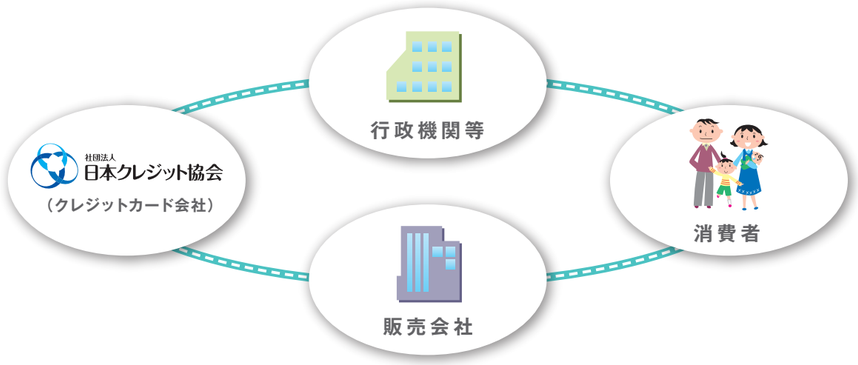
社団法人 日本クレジット協会

～クレジットカードショッピング枠の現金化排除に向けた総合対策～

- ○消費者への広報・啓発活動を実施します。
- ○「現金化」業者へ警告文を送付したり、繁華街等の立て看板撤去の要請をします。
- ○協会加盟のクレジットカード会社、国内の決済代行業者等に対して、加盟店調査をさらに強化するように要請します。
- ○「現金化」に関する苦情・相談等の情報提供を受け付けます。
- ○国際ブランド会社と連携します。
- ○取締当局などと連携します。

「クレジットカードのショッピング枠の現金化」の問題は、クレジットカード会社、カード利用者（消費者）、販売会社、さらには行政機関など、それぞれが協力しつつ対応しなければなりません。

このような状況の中で、「クレジットカードのショッピング枠の現金化」排除に向け、関係機関と連携し、クレジットカード会社としてできる限りの対応を図っています。



「クレジットカードのショッピング枠の現金化」のご疑問やお悩みについては、クレジットカード会社又は当協会の相談専用窓口にご相談ください。

社団法人
日本クレジット協会　消費者相談室
TEL:03-5645-3361 月曜日～金曜日 10:00～12:00／13:00～16:00

クレジットカードのショッピング枠の「現金化」の誘いに注意!!

クレジットカードショッピング枠の現金化とは？

クレジットカードには、商品やサービスを購入し、後払いにする「ショッピング」の機能と、お金を借り入れる「キャッシング」の機能があり、それぞれに利用できる金額が設定されています。

「クレジットカードショッピング枠の現金化」とは、本来、商品やサービスを後払いするために設定されている「ショッピング」の利用可能枠を換金する目的で利用することです。

クレジットカード会社はこれらの行為を認めていません。絶対行わないでください。

最近、インターネットや新聞・雑誌等で「クレジットカードのショッピング枠を現金化します」などという広告が掲載されていることがあります。

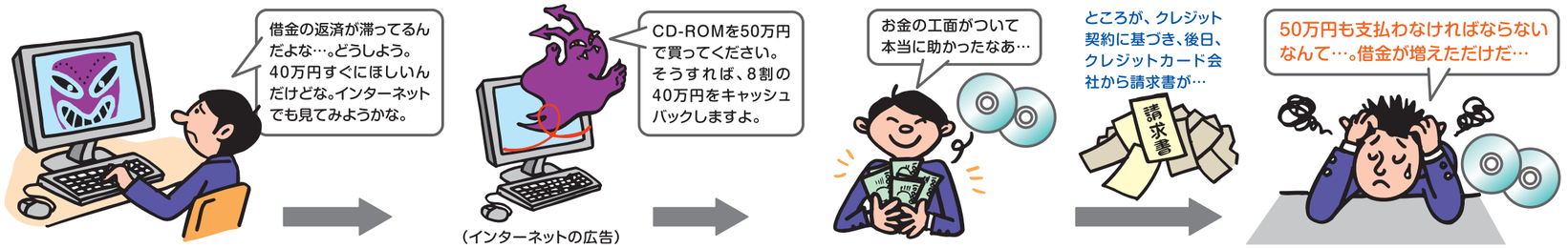
これらは、一部の業者が当座の資金に困ったカード利用者に、ショッピング枠を現金化するように勧誘するものです。

換金目的でカードを利用することは、「クレジットカード会員規約」に違反する行為で、カードの利用ができなくなったり、結局は自分の債務を増やすことになります。また、犯罪や思わぬトラブルに巻き込まれるケースもあります。

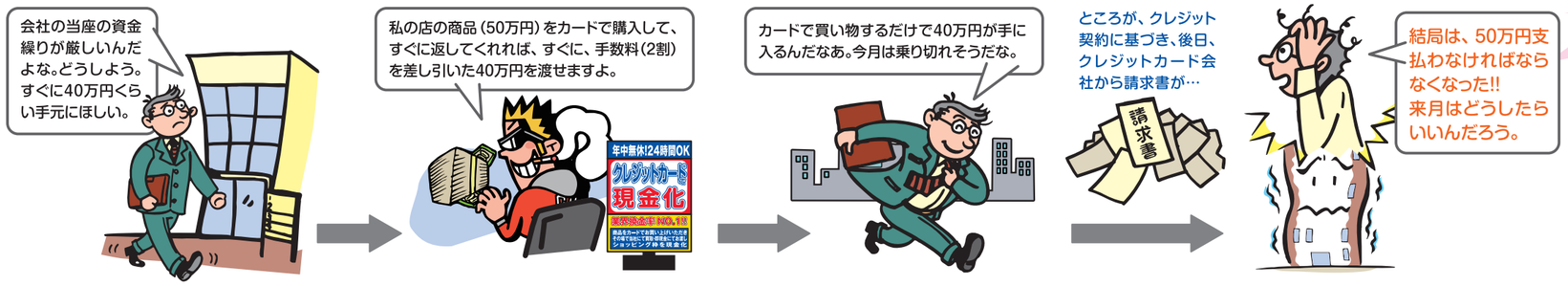
社団法人 日本クレジット協会

クレジットカードのショッピング枠の現金化の事例

ケース① A君の場合　ほとんど価値のないものをクレジットカードで購入させ、その代金の何割かをキャッシュバックするもの



ケース② B社長の場合　自社の商品をクレジットカードで購入させ、手数料を差し引いた金額で買い取るもの



A君が手にしたのは、ほとんど価値のないCD-ROMと現金40万円、B社長は現金40万円のみです。

結局、クレジットカード会社に支払わなければならないのは、50万円ですので、差し引き10万円の損となります。

※金利で計算すると年300%になります。（元本40万円を借り入れ、利息10万円で30日後に返済する場合）

ケース① でも **ケース②** でも、インターネットでの取引や実際の店舗（リアル）での取引があります。また、「クレジットカードのショッピング枠の現金化」には上記以外にも、カード会員に転売しやすい金券類などを指定し、それを販売しているお店でその金券類などをクレジットカードを利用して購入させて手数料を引いた額で買い取るものなどがあります。

なお、表示されている換金率の金額を受け取れなかったり、業者から約束されたお金が渡されなかったりするなどの事例もみられます。

消費者の皆様への注意

①**クレジットカード会社は、換金を目的とするクレジットカードの利用を認めていません。**このことは、クレジットカード会社とカード会員との約束事である「クレジットカード会員規約」に記載されています。このようなことは、規約違反として、**「残金の一括請求」**、**「カードの利用停止」**、**「カードの強制退会」**等のペナルティを受けることにもなります。

②クレジットカードのショッピング枠を現金化しても、カード利用した代金はクレジットカード会社に支払わなければなりません。その場でいくらかの現金を手に入れたとしても一時的にしのげるだけで、**結局は自分の債務を増やすことになります**。

③クレジットカードのショッピング枠を現金化する業者に提供した**カード番号や個人情報等が悪用**されてしまうことがあります。

④場合によっては、利用者本人が犯罪に問われることやトラブルに巻き込まれることもあります。